学校番号	Ｔ０２０４

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	現代文ＢⅡ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	新編現代文Ｂ　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小説と評論文や随想等を、ほぼ同じ割合で学習します。
・漢字の読み書きの練習も行います。
・授業ではプリントを使用します。失くさないように保管してください。
・教科書を使用します。必ず持参してください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を読み、我が国の言語文化に対する理解を深め、読書に親しみ国語の向上を図る態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a.関心・意欲・態度	b.話す・聞く能力	c.書く能力	d.読む能力	e.知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	評論・随想等の内容を理解するⅠ	時代をひらく 教材： 「最初のペンギン」 「豊かさと生物多様性」 「もう一つの知性」	○	◎	○	○		a：文章の構成や指示語、具体例、接続後などに注目し、作者の主張を理解しようとしている。 b：筆者の考えと自分の考えを対比し、自分の考えを他者に話し、伝達できている。 c：筆者の考えを要約でき、自分の考えを明確に書くことができる。 d：文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているのかどうかを考察している。	a、b：行動の観察と確認 c、d：記述の確認と分析及び定期考査
	小説の内容を理解するⅠ	生きるかたち 教材： 「山月記」 「カンガルー日和」	○			◎	○	a：物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるように描こうとしている。 d：人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気づいている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a：行動の観察及び記述の確認 d、e：記述の確認と分析及び定期考査

後期	評論・随想等の内容を理解するⅡ	新しい視点から 教材： 「カフェの開店準備」 「ホンモノのおカネの作り方」	○	○	◎	○		a：文章の構成や指示語、具体例、接続後などに注目し、作者の主張を理解しようとしている。 b：筆者の考えと自分の考えを対比し、自分の考えを他者に話し、伝達できている。 c：筆者の考えを要約でき、自分の考えを明確に書くことができる。 d：文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているのかどうかを考察している。	a、b：行動の観察と確認 c、d：記述の確認と分析及び定期考査
	小説の内容を理解するⅡ	現代の生 教材 「鞄」 「ベルエポック」 「葉桜と魔笛」	○			◎	○	a：物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるように描こうとしている。 d：人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気づいている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a：行動の観察及び記述の確認 d、e：記述の確認と分析及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。